

■歪検査器

みなさんこんにちは。今回は歪検査器の円偏光法の特長についてお届けします。

■円偏光法 特徴

ルケオでは、内製した偏光板、波長板を組み込んだ高品質な歪検査器を長年、開発・製造してきました。各種、歪検査器において円偏光法は、ガラスや樹脂の比較的大きなリタデーションをカラーチャートを用いることで簡便に歪を定量評価できる魅力的な方法です。

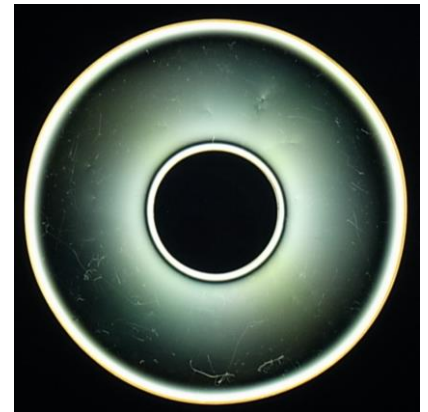
ルケオの歪検査器ラインナップにおいて円偏光法は、中型機種種の LSM-4200LE を主力として、小型から大型機種種まで展開しております。リタデーションの分布を一目で確認できることから、抜取り検査や製造プロセス管理などで活躍しています。



LSM-4200LE



LSM-2200LE



圧縮負荷履歴を持つ
樹脂の残留応力

円偏光法の特長をまとめました以下の技術資料と、歪検査器の選定に有効な総合カタログをあわせてご覧いただくと幸いです。

その他、問い合わせなどいつでも承りますのでお気軽に申しつけてください。

歪検査器 円偏光法 特徴(Jpn.)

https://www.luceo.co.jp/catalog/up_img/1562570373-808957.pdf

歪検査器 LSM シリーズ 総合カタログ(Jpn.)

https://www.luceo.co.jp/catalog/up_img/1504241055-700146.pdf

問い合わせ先：

株式会社 ルケオ / 営業部
東京都板橋区大山金井町 30-9
TEL : 03-3956-4111

<https://www.luceo.co.jp/contact/>

以上